

令和4年 11月

■一般文学

「間(あわい) ～産婦人科医那須悠介のカルテ～」

・著:茨木 保

・出版社:アメージング出版

産婦人科を舞台にしたリアルな医療小説。

普通では知る事のない産婦人科の日常について、専門用語を多く使いながらも様々なテーマでわかりやすく描いています。

研修医那須悠介は、日々起こる出来事に常に真面目に向き合っているのですが、不器用な性格の為かミスをおかしたり誤解を招いたりして異動をすることとなります。異動先には学生時代から憧れていた先輩女医葉山先生がいて、思いを隠しきれなくて告白するのですが、先生には秘密があり交際までには進みません。しかし、葉山先生のもとで色々な経験を積み独り立ちするまでに成長すると、先生との関係にも進展が……。

命を授かる尊さ、出会い、別れを、涙あり笑いありで心温まる内容となっています。果たして、「間(あわい)」が意味する事とは何なのでしょう。

(対象 一般)

■一般書

「おにぎりの文化史 ～おにぎりはじめて物語 見るだけで楽しめる!～」

・監修:横浜市歴史博物館

・出版社:河出書房新社

そもそも何をもって「おにぎり」というのか。呼び方は「おむすび」「にぎりめし」などさまざま。形については、1980年代は丸型が多かったようですが、今は三角が主流。コンビニおにぎりの普及が理由と言われています。

そんなおにぎりを、考古学の視点から見て、特徴や過去までも調べてまとめたのが、2014年の秋に、横浜市歴史博物館が開催した企画展「大おにぎり展-出土資料からみた穀物の歴史」。この本は展示図録を再構成したものです。

昔から日本人はおにぎりを重要視しています。昔話の『さるかに合戦』や『おむすびころりん』などでもキーアイテムとして登場しますし、アニメ『千と千尋の神隠し』でも、いい場面で出てきます。

おにぎりの文化史を、楽しみながら読んでみませんか。

(対象 一般)

■児童書

「どう解く? ～答えのない道德の問題 正解のない時代を生きるキミへ～」

・文:やまざき ひろし

・絵:きむら よう、にさわだいら はるひと

・出版社:ポプラ社

「問題です。3+5 は？」答えは 8。これは決まった答えがある問題。では、「正義のヒーローは、どうして悪者をなぐっていいんだろう？」や「勉強をずっとしても怒られないのに、どうしてゲームをずっとしていると怒られるんだろう？」はどうか？大人になるにつれて、どう答えたらいいのか、なやむ問題にぶつかることがたくさんあります。

これは、絵本から投げかけられる問いかけをきっかけにして、親子や友だちと深く話し合っほしいと願って作られた「答えのない絵本」です。考えるためのヒントとして、お笑い芸人やタレント、動物学者などの

意見も紹介されています。

(対象 小学低学年から)

■絵本

「ハリネズミと金貨 ロシアのお話」

・原作:ウラジーミル・オルロフ

・作:田中 潔

・絵:ヴァレンチン・オリシヴァング

・出版社:偕成社

ハリネズミのおじいさんが、森の小道を歩いていると、一枚の金貨が落ちていました。冬ごもりの準備に、この金貨で干しキノコを買おうとしますが、どこにも売っていません。困っていたところに、知り合いのリスが声をかけてきました。事情を話すと、リスは干しキノコを分けてくれて、金貨は新しい靴を買うのに使うように気遣ってくれました。靴屋を探していると、今度はカラスが話しかけてきて、靴を買おうとしていることを話すと、靴は作ってあげるから、靴下を買うようにカラスはいいます。靴下を売っているところを探していると、クモに出会いますが…。

動物たちの相手を思いやる気持ちに、心があたたかくなるウクライナの児童文学作家原作の絵本です。

(対象 5歳から)